

発行：河内長野市医師会地域連携室（まちのれんけい室）

令和3（2021）年6月・第68号

●第6回 **ミニれんけいかフェ**（6月23日・水）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とさせて頂きます。なお、今回の資料をご希望の場合は、地域連携室迄ご連絡下さい。6月24日（木）以降にお渡しさせて頂きます。

●第7回 **ミニれんけいかフェ** <入れ替え制で、内容は同じです。参加証はありません。>

8月25日（水）、河内長野市医師会館3階会議室にて開催します。各々定員は約20名（定員超過の場合は抽選）となります。お申し込みは、原則医療機関・事業所1名でお願いします。氏名、医療機関・事業所名、資格、TEL、FAX、希望番号を書いて、MCS、FAX(54-1567)、TEL(54-1700)にて地域連携室迄お申込み下さい。お断り等の場合は、当室からご連絡を差し上げます。

①	パート1	要事前予約	8/25・水	午後1時30分～2時30分	資料配布と懇談等
②	パート2	要事前予約	8/25・水	午後3時～4時	資料配布と懇談等

☆ **まちのれんけい室市民相談会α** 午前10時～午後4時<於・河内長野市医師会地域連携室>
第20回6月17日（木）、第21回7月15日（木）、第22回8月19日（木）の開催予定です。医療、介護、福祉、成年後見、遺言、相続等の相談を行っています。相談は対面の他、電話、FAX、メールも可能です。

■ 冊子 **みんなのあんしん介護保険**（河内長野市・令和3年4月制度改正対応版）：本冊子が発出されました。ここには、介護保険制度の概要の説明や利用の手引きが載っています（別紙）。

☆ **在宅医療・介護連携推進事業における広域連携の推進のために！**

◇在宅医療・介護連携推進事業における**広域連携**の一環として、高齢者支援に関して、大阪市内医師会の在宅医療・介護連携相談支援室等との連携促進、任意後見制度やACPの普及啓発のため、懇談を実施しました。訪問先は、2月17日（水）大阪暁明館病院、4月23日（金）北区相談支援室と福島区相談支援室です。また、1月19日（火）には、富田林市第二圏域地域包括支援センターの担当の方と懇談しました。

■ 現在 **MCS**（メディカルケアステーション）を使つてのクラウドシステム（れんけいかフェグループ）への加入を募っております。現在、55名の加入です。加入の場合は、多職種への「FAX送信」に代わり、**MCS**による情報提供を実施しています。**MCS**のお問合せ等は、地域連携室迄ご連絡下さい。

■ **河内長野市ブルーカードシステム（病状急変時対応システム）の推進** （5月31日現在）

＜ブルーカードシステムの運用状況＞	
○「ブルーカード」発行：286件（再発行等含む）	○キーパーソン：娘・嫁（51%）、息子（22%）
○「ブルーカード」発動：75件（うち救急隊出動51件）	○「ブルーカード」発行者：登録医（医師会員）
○「ブルーカード」発行時の患者平均年齢：85.5歳	⇒現在登録医44名・登録医療機関37機関
	（うち「ブルーカード」を発行の登録医は29名）

■ 冊子 **在宅緩和ケア連携診療所マップ 南河内2021**（南河内がん医療ネットワーク協議会）：南河内圏域におけるがん診療の充実を目指して、本冊子が刊行されています。対応可能ながん領域・在宅医療の一覧表、診療所・病院紹介などが掲載されています。冊子希望の場合は、地域連携室迄ご連絡下さい。

◇河内長野市市民保健部との懇談:5月6日(木)・14日(金)にありました。また、5月24日(月)には、「おれんじチーム」のチーム員会議が、5月18日(火)には、地域ケア会議いきいきフェスタ検討委員会(ZOOM)が、各々開催されました。なお、「いきいきフェスタ」は10月24日(日)開催の予定です。

□バリアフリー・慢性期医療展・看護未来展・在宅医療展 2021(於・インテックス大阪) ←リアル展示
＜開催＞8月25日(水)～27日(金)、いずれも10:00～17:00

◇ミニトーク(懇談)からあれこれ ～ちょっとした立ち話や何気ない話から～

(1)救急医療に関する懇談(5月3日・月):大阪市内の包括職員の方と話をしました。「救急搬送に気をもんでいる。先日は大事に至らなかったが、依然としてコロナ禍での不安感は拭えない」との発言がありました。

(2)任意後見に関する懇談(5月17日・月):大阪市内の区役所職員の方と話をしました。「報酬の多寡を云々するより、まず制度の良さに目を向け、高齢者支援の選択肢を増やすべき」とのコメントがありました。

□榎本病院「2020年度がん診療連携在宅病院会」:CD視聴 ～講演と「緩和ケア病棟7年間の歩み」～
講演では、「がん患者の意思決定支援とコミュニケーション」をテーマに、意思決定プロセス、インフォームド・コンセント、患者医療者間のコミュニケーション等について説明があり、パンフレット「重要な面談にのぞまれる患者さんとご家族へ」の提示がありました。パンフレット希望の場合は、地域連携室迄ご連絡下さい。

□大阪家庭裁判所研修会「よくわかる＝成年後見制度」:5月18日(火)開催 ZOOM
裁判制度や家庭裁判所のあらまし、成年後見制度の概要等についての講演がありました。

☆ご案内 コロナ禍に負けないための、もしものときの緊急情報案内!

◎河内長野市新型コロナワクチンコールセンター:0721-26-8135(平日9:00～17:30)

●消費者庁・国民生活センター消費者ホットライン:0120-213-188か188(全国共通・有料)

●同消費者ホットライン(新型コロナワクチン詐欺):0120-797-188か188(全国共通・有料)

☆【Topics】

○日本医師会「コロナ禍における外国人医療についての提言」:新型コロナウイルス感染症は、在留外国人※にとっても深刻な問題と指摘し、外国人医療対策は喫緊の課題とされています。特に、言語・コミュニケーション不足の解消は必要不可欠とし、「医療通訳サービス」の紹介がなされています。

※在留外国人(約290万人):内訳は、特別永住者30万人、永住者80万人、技能実習生40万人、技術・人文知識・国際業務従事者29万人など。国別では、中国78万人、韓国43万人、ベトナム42万人、フィリピン28万人など。このうち大阪府には25万人が居住(いずれも、約)。

○日本医師会「医療通訳サービス」:良好なコミュニケーションの確保と医療事故の防止を目的とした日医医師賠償責任保険の付帯サービスです。日医A①会員である医療機関の医師・職員を利用者として、(1)電話医療通訳と(2)機械翻訳があり、対象言語は、18言語です。(1)は、専用ダイヤルを登録し、8:30～24:00迄医療専門通訳者につながる仕組み(1回30分迄・年間20回)となっています。(2)は、自身のスマートフォン等にアプリをダウンロードして使用し、24時間利用可能となっています。

☆河内長野市医師会地域連携室 <TEL:54-1700 FAX:54-1567>

(まちなれのんけい室)

<メールアドレス:chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com>